

柏崎体育

發行 柏崎体育團
(柏崎市役所内)
編行編集人今井哲夫
印刷人小田信夫
定價一部10円
(毎月1回発行)

祝刊
三橋喜久雄
橋横木壯五
橋横木壯五
研究所長
体育研究所長
久雄

柏崎体育の
目指すもの

実践に乗り出した。その活動は易々として展開されてゐる譯ではない。地方自治の体の窮乏の中で、体育とは努力により、大正時代のスポーツで我々も

の後

陸上競技場を、そ

の後

五〇メートルアーチを

建設し、この施設を中心

に任せるとする

全国的思潮の

中で、体育團は權威に屈せ

た。事大主義に抗し、眞体

育の芽は枯れ果てたのでは

なかった。戦後早く同要

時の委員時代を経て柏崎の

体育は見る景なき状態と

なつた。然し乍ら柏崎眞體

育の芽は枯れ果てたのでは

なかつた。戦後早く同要

時の委員時代を経て柏崎の

体育は見る景なき状態と

なつた。然し乍ら柏崎眞體

育の芽は枯れ果てたのでは

なかつた。戦後早く同要</

柏崎の真価を

世に問ふ

當市が、体育スポーツの都として、顕著な実績を挙げてゐる
ことと、明るい觀光、レクリエーションの最適地であること
が買われたものであり、誠に慶賀に堪へない。

陸レクリエーション大會が當市を會場に開催されることになつた。

柏崎体育團はこの期待に応ふるべく、全力を傾注して、その準備受入れの構想を練つてゐたが、成案を得て全市一丸の準備

委員會を、二月五日、市公

民館に於いて結成した。

先ず市長及び県官挨拶があり、近藤体育團長越旨説

明、經過報告の後、規約審議、役員選出を行ひ、大綱

方針に就き協議した。

役員は左記が決定した。

會長 近藤祿郎 副會長 萩野秀雄、吉川

浩文(県社會教育課長) 事務局長 島掛藤次郎

全主任 今井哲夫 尚左記が會長より委嘱され

ことになった。

顧問 縢知事、縣會議長

縣教育長、縣体育會長、三井田市長

洲崎義郎、小林力三 參與地元四縣會議員、

神戸地方事務所長、村山町長會長

技術委員、今井柏崎保健

所長、木村療養所長、堀

田柏崎勞基監督署長、吉

次郎、細木善一、千原弥之

代、島掛藤次郎、今井哲夫、阿部芳郎、坂田四郎

渡邊五郎兵衛、外山

町村長會長

第一回全國高等學校

驛傳競走大會に想ふ

柏崎工業高等 新保 昂

(一) 体

育が智育、德育と平

らない事は何人も認める

所であります。身体の消

費を主とするものであり、

運動のみやる事が強健な体

育を作る事でも又發育を助

長する法でも無い事も又申

す迄も無い事でありまして

充分な栄養を与え、然る後

体の鍛錬をして始めて体育

の効果が舉るのであります

この意味に於いて柏崎体育

第一號が発刊されるに當

る事で、健康人曰常攝るべき

は容積、代價、手數等の上

に多少消耗される成分に相

對して、若し米で出来ないな

達があり後者は前者に比し

山校長先生の下に柏崎島

校に御厄介になり、あなた

の豫定

郎吉、涉外宣傳部、渡邊

三郎、月橋奎

事務局部長、總務部、今

井哲夫、調査研究部、阿

部芳郎、指導部、坂田四

郎吉、涉外宣傳部、渡邊

五郎兵衛、施設部、外山

三郎(敬稱略)

第二回委員會は二月二十日

五郎兵衛、施設部、外山

郎吉、涉外宣傳部、渡邊

五郎兵衛、施設部、外山